

平成30年度 訪問看護スタートアップ研修 講義日程表(前期)

● 研修時間: (AM)9:30~12:30 (PM)13:30~16:30 ● 研修場所: 高知県立大学池キャンパス 看護学部棟

日時	講義室名	科目名と目的	講師
4月25日 (水)	AM	C314 在宅看護に関する保健医療福祉政策の動向 【目的】 社会の動向を踏まえ訪問看護の位置づけを理解する。	高知県健康政策部医療政策課
	PM	C314 在宅看護に関わる看護政策の動向 訪問看護制度と法的枠組み 【目的】 訪問看護に関わる制度やサービス提供のしくみと看護施策の動向を理解する。	高知県立大学健康長寿センター 特任准教授 森下 幸子
4月26日 (木)	AM	C314 在宅ケアシステム 【目的】 在宅ケアシステムにおける地域包括ケアシステムの概念、背景、実現に向けた取り組み、評価など全体像を把握し、医療と介護の連携、多職種協働における訪問看護の役割・機能を理解する。	高知県立大学看護学部 教授 森下 安子
	PM	C314 ステーション運営と管理、リスクマネジメント 【目的】 訪問看護事業所の運営、経営、ケアの質管理など組織的特徴を理解する。訪問看護におけるリスクマネジメントを学び、事故や災害への対処を理解する。	高知県立大学健康長寿センター 特任准教授 森下 幸子
5月2日 (水)	AM	C314 中山間地域の在宅療養者を支援する看護概論 【目的】 訪問看護の役割、機能、特性、倫理について理解し、訪問看護師の基本姿勢を身につける。在宅における安全管理の基本、法的責任を理解する。	高知県立大学健康長寿センター 特任准教授 森下 幸子
	PM	C314 在宅療養者を支援する訪問看護の展開 【目的】 中山間地域の特性とその生活を理解し、具体的な訪問看護の展開方法(プロセス)を実践例を通して理解する。	高知県立大学健康長寿センター 特任准教授 森下 幸子
5月9日 (水)	AM	C314 訪問看護の対象者のとらえ方 【目的】 訪問看護が必要な療養者と家族の特性を理解し、生活を中心に捉え、自立と尊厳を尊重した看護の視点と基本姿勢が理解できる。	高知県立大学健康長寿センター 特任准教授 森下 幸子
	PM	C314 認知症をもつ人の在宅看護 【目的】 認知症について知り、認知症をもつ人の特性と生活を理解する。療養者と家族に対する在宅での援助のポイントと介入技術を身につける。	高知県立大学看護学部 講師 渡邊 美保
5月10日 (木)	AM PM	C314 在宅療養者の看護過程 【目的】 在宅における訪問看護過程を理解し、生活の質を高める看護実践の展開ができる。	高知県立大学健康長寿センター 特任准教授 森下 幸子
5月16日 (水)	AM PM	C314 C211 在宅療養者の日常生活への支援 【目的】 在宅看護に必要な日常生活支援の根拠、方法を理解し、個別性に 応じた支援が実践できる能力を身につける。	高知県立大学健康長寿センター 特任准教授 森下 幸子 特任助教 坂本 和子
5月17日 (木)	AM PM	C314 在宅医療論(総論・各論) 【目的】 在宅医療を必要とする医療依存度の高い療養者の病態と治療を理解する。難病患者、重症心身障害児、医療的ケアを必要とする小児への在宅医療について学び、訪問看護師の役割と多職種連携について理解する。	あおぞら診療所高知潮江 所長 松本 務
5月23日 (水)	AM PM	C314 訪問看護師に求められるコミュニケーションスキル 【目的】 在宅で必要となる人間関係やチーム医療を促進するコミュニケーションの重要性を理解し、コミュニケーションスキルを身につける。	高知県立大学健康長寿センター 特任准教授 森下 幸子 特任助教 坂本 和子

日時	講義室名	科目名と目的	講師
5月24日 (木)	AM	C314 事例展開（認知症の事例） 【目的】 学習した知識技術を統合して、認知症を持ちながら在宅で生活している療養者と家族に対する在宅看護過程の展開ができ、問題解決に必要な看護援助、多職種連携について考えることができる。	高知県立大学健康長寿センター 特任准教授 森下 幸子 特任助教 坂本 和子
	PM	C314 医療的ケアを必要とする小児の在宅看護 【目的】 在宅で医療的ケアを必要とするこどもと家族の特性を理解し、援助のポイントと介入技術を身につける。	高知県立大学看護学部 講師 有田 直子
5月30日 (水)	AM	C314 在宅療養者の歯科疾患へのケア 【目的】 歯科疾患について学び、口腔内の観察とケアの重要性を理解する。病態や口腔内の状態に応じたアセスメントとケアの技術を身につける。	高知県歯科医師会 専務理事 野村 圭介 歯科衛生士 堤 智子
	PM	C314 栄養アセスメントと食事の工夫 【目的】 在宅療養者の栄養管理に関わる知識を学ぶ。栄養アセスメントのポイントを知り、それに基づいた食事の提案・援助が実践できる。	高知県立大学健康栄養学部 講師 廣内 智子
5月31日 (木)	AM PM	C314 ケアマネジメント～ケアマネジャーとの連携～ 【目的】 介護保険制度におけるケアマネジメントの基本理念およびプロセスを理解し、継続看護の視点でケアマネジメントができる。	高知県立大学看護学部 教授 森下安子
6月6日 (水)	AM PM	C220 C211 在宅リハビリテーション 【目的】 在宅療養者の身体機能とそのアセスメントについて学ぶ。療養者の生活空間で行うリハビリテーションの実際を知り、訪問看護師の役割と多職種連携について理解する。	生き生きサポートセンター うるば高知 代表 理学療法士 下元 佳子
6月7日 (木)	AM	C209 C211 摂食・嚥下の支援が必要な在宅療養者のケア ～栄養療法が必要な在宅療養者の看護～ 【目的】 摂食・嚥下障害のメカニズムを理解し、適切なアセスメントができるようになる。経口摂取の状況に応じた栄養摂取方法と、その管理技術を身につける。	高知医療センター 摂食・嚥下障害看護認定看護師 岡村 かのこ
	PM	C314 皮膚疾患と褥瘡治療 【目的】 皮膚疾患について学び、治療の実際を知る。褥瘡のステージに合わせた創傷管理と適切なケア技術を身につける。	高知県立大学健康長寿センター センター長 池田 光徳
6月13日 (水)	AM	C314 慢性疾患をもつ在宅療養者の看護 【目的】 慢性疾患をもつ人の特性と生活を理解し、療養者と家族に対する在宅での援助のポイントと介入技術を身につける。	高知県立大学看護学部 教授 内田 雅子 講師 山中 福子 助教 高樽 由美 助教 田村 美和
	PM	C209 C211 スキンケア・ストーマケアが必要な在宅療養者の看護 【目的】 在宅におけるストーマケア、褥瘡予防、スキンケアの考え方と実際の支援方法を理解する。	高知医療センター 皮膚・排泄ケア認定看護師 片岡 薫
6月14日 (木)	AM	C209 C211 排泄ケアが必要な在宅療養者の看護 【目的】 排尿・排便障害のメカニズムと適切な排泄アセスメントについて学ぶ。排泄援助の技術を身につけ、療養者の個性に応じたケアを行えるようになる。	高知県立大学健康長寿センター 特任准教授 森下 幸子
	PM	C314 在宅における服薬の基本知識と管理方法 【目的】 在宅における薬剤管理の基本知識を理解し、服薬管理および療養者と家族の支援方法を理解する。多剤服用、薬剤処方最新の動向、診療報酬のしくみを理解する。	南国病院 薬剤部 川添 哲嗣

日時	講義室名	科目名と目的	講師
6月20日 (水)	AM	C314 在宅での見取りを支えるエンド・オブ・ライフ・ケア 【目的】 エンド・オブ・ライフ・ケアの最新の動向と知識を学ぶ。全人的緩和ケアを理解し、在宅での看取り、グリーフケアを実践できる。	高知県立大学健康長寿センター 特任准教授 森下 幸子
	PM	C314 在宅がん緩和ケアの実践 【目的】 緩和ケアにおける症状マネジメントや在宅での判断のポイントを理解し、アセスメントに基づいたケアの技術を身につける。	高知県立大学看護学部 助教 庄司 麻美
6月21日 (木)	AM	C314 事例展開（倫理的調整が必要な事例） 【目的】 学習した知識技術を統合して、倫理的課題を含む在宅療養者や家族のケースに対する在宅看護過程の展開ができ、問題解決に必要な看護援助、多職種連携について考えることができる。	高知県立大学健康長寿センター 特任准教授 森下 幸子 特任助教 坂本 和子
	PM	C209 C211 訪問看護における感染管理の基本 【目的】 標準予防策を理解し、療養者の自宅で展開する感染対策の実践技術を身につける。	高知医療センター 感染管理認定看護師 西川美千代
6月27日 (水)	AM	C314 精神疾患をもつ在宅療養者の看護 【目的】 精神症状のある人の特性と生活を理解し、療養者と家族に対する在宅での援助のポイントと介入技術を身につける。	高知県立大学看護学部 教授 田井 雅子 助教 塩見 理香
	PM	C209 C211 輸液管理が必要な在宅療養者の看護 【目的】 輸液管理が必要な在宅療養者の病態とアセスメントについて学ぶ。在宅での輸液管理の実際を理解し、基本的な注射技術を習得する。	高知県立大学健康長寿センター 特任准教授 森下 幸子 特任助教 坂本 和子
6月28日 (木)	AM PM	C314 C211 呼吸療法の必要な在宅療養者の看護 【目的】 呼吸療法が必要な療養者に対するケアを学ぶ。呼吸療法に使用する在宅医療機器のしくみを理解するとともに、呼吸ケア技術を実践できる。	高知県立大学看護学部 准教授 川上 理子
7月4日 (水)	AM PM	C209 C211 在宅におけるフィジカルアセスメント 【目的】 在宅看護実践に必要なフィジカルアセスメントの知識、方法、推論のプロセスを理解する。	高知県立大学看護学部 助教 小原 弘子
7月5日 (木)	AM	C314 難病患者とその家族のケア 【目的】 難病疾患をもつ人の特性と生活を理解し、療養者と家族に対する在宅での援助のポイントと介入技術を身につける。	高知県立大学看護学部 准教授 川上 理子
	PM	C314 地域と医療の連携 【目的】 在宅ケアに携わる職種の役割や機能を理解し、医療と介護の連携、多職種協働にむけた看護実践について理解する。	高知市在宅医療介護支援センター 山本 三千子
7月11日 (水)	AM	C209 C211 在宅療養者の急変時の対応 【目的】 在宅療養者の急変時徴候や初期対応等のポイントについて学び、状況に応じた適切なケアを実践できる。	高知県立大学看護学部 助教 小原 弘子
	PM	C314 在宅の対応困難な家族のケア 【目的】 在宅移行、在宅療養における家族の役割・機能、特徴を理解し、家族理論や概念を用いて、療養者・家族を単位としたアセスメントや家族支援ができる。	高知県立大学健康長寿センター 特任准教授 森下 幸子
7月12日 (木)	AM PM	C314 事例展開（終末期の事例） 【目的】 学習した知識技術を統合して、看取り期を在宅で生活している療養者と家族に対する在宅看護過程の展開ができ、問題解決に必要な看護援助、多職種連携について考えることができる。	高知県立大学健康長寿センター 特任准教授 森下 幸子 特任助教 坂本 和子
		16:00～ 全域卒受講者修了式	